

「むつみ男米」など、秋の地元色豊かな料理が並ぶ。

萩から参加するのは、常茂恵の厚東女将と食材を提供したむつみの「アグリード」の竹重聡氏。厚東女将が八芳園との関係や萩の歴史について、竹重氏が生産している米や野菜について話す。

時間は正午から午後1時半まで。参加費は7千円（秋膳3品、ボンボンシヨコラ秋特別ミニセット付き）。定員は先着20人。申し込みはホームページ「パスマーケット」から。

問い合わせは八芳園（03・6456・2030）まで。

「ささラブ」完成

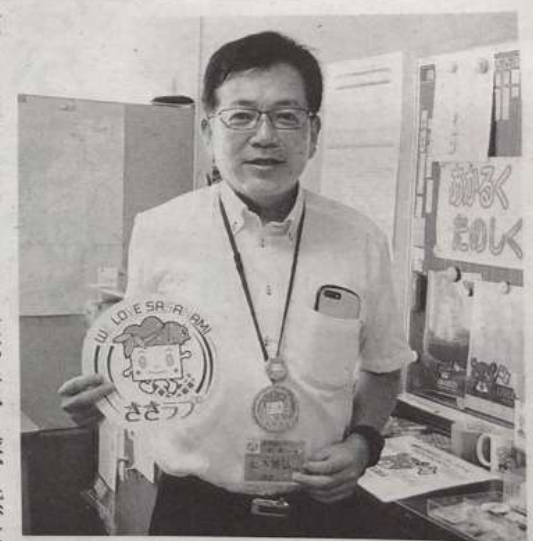
豆腐キャラクター

佐々並の魅力発進

佐々並小学校（船木美弘校長、全校児童16人）でこのほど、児童がイメージする佐々並の魅力を詰め込んだ学校キャラクター「ささ

ラブ」が完成。缶バッジやTシャツなど、オリジナルグッズも続々と製作している。

「ささラブ」は、佐々並名物の豆腐に顔や手足をつけたキャラクター。頭は濃い緑の深山をベースに、校章の笹、特産の米、佐々並川を組み合わせた。佐々並の空をイメージした青い瞳、伝建地区の石州瓦のように赤い頬が愛らしい。「ラブ」には「ふるさと愛」「ふれあい」「あいさつ」の意味が含まれている。今春着任した船木校長が呼び掛け、全校児



〈「ささラブ」グッズを紹介する佐々並小の船木校長〉

童で同校や地域のイメージを書き出し、プロのイラストレーターがデザイン化した。グッズは、缶バッジ、Tシャツ、帽子、しおり、マスク袋など。缶バッジは直径約4センチで、背景が青、緑、紫など、7色がある。佐々並婦人会などコミュニティスクールで地域を訪れる団体に配布した。Tシャツは15色。児童生徒、保護者の他、地域住民も希望者に販売す



来成人式を迎える、杉山よしのさん
現在、安田女子大学・心理学部で公認心理師を目指して勉強しています。
将来、医療現場や学校等で人々の心と向きあい、支える事が出来る人を目標に頑張っています。

撮影 下瀬信雄

る予定。

船木校長は、以前赴任していた浅江小、熊野小でもキャラクターを製作。熊野小の「あいKUMA」は、昨年の「学校キャラ甲子園」（山口県PTA連合会主催）でグランプリを受賞した。

船木校長は「学校キャラクターは、地域と学校を繋げるツール。子どもたちに学校を好きになつてもらい、地域の人と話題にしてもらえたら」と話している。

問い合わせは佐々並小学校（56・0009）まで。

一緒に考えます
それぞれの
解決

当事務所は「それぞれの解決事務所」です。
不安や悩みは人によって違い、そこで私たちは、ご相談者のデザインしたサービスを提供と考えています。
誰しも先が見えないときは、まずはお気軽にご相談下さい。